

学習参観・懇談会・保護者総会へのご出席ありがとうございました

25日(土)には、ご多用の中、学習参観・学級懇談会・保護者総会にご出席くださり、誠にありがとうございました。

学習参観では、進級した新しい学年の新しい教室では、学級担任を中心とした先生の指導のもと、ちょっと緊張しつつも、意欲的に学んでいる姿をご覧いただけたのではないかと思います。

また、懇談では、担任や担当者と顔を合わせていただき、総会では、直接本年度の「学校の教育方針」「お知らせやお願い」等をお聞きいただいたこと、心より感謝申し上げます。今後もお子様のご成長のために保護者の皆様と連携を図ることができればと思っております。何卒、よろしくお願い致します。



感じたことから

○“言葉かけ”“支援”のタイミング

本校にはたくさんの桜の木があり、本年度も3月末から4月当初に見事な花を咲かせてくれました。入学式には、だいぶ散ってしまっていましたでしたが新1年生の入学を祝ってくれているかのようでした。さて、その桜ですが、綺麗な時期も終わると花びらは散り、地面に薄桃色の絨毯が敷き詰められます(花筵：はなむしろ)。これもまた美しいのですが、この桜色も、さらに時が経てば茶色と化してしまいます。これは、それまでの美しさとは縁遠く、何かしら汚れた感じがするものです。



本校の門扉横の歩道には、この茶色の花びらがずっと敷き詰められたままでした。本校の敷地内の桜が原因で散らかった花びらの痕なので、何かしら責任を感じていました。しかし、気になりながらも怠惰な私は、そのままの状態を放置しっぱなしです。でも、『これではいかん!』と重い腰を上げ『いっちょやるか』と、歩道の清掃に取り掛かりました。始めは箒を使って掃きながら、綺麗になっていくことにちょっとした喜びを感じていました……が、1時間やっても全体の4分の1ほどしかできません。大きなゴミ袋もいっぱいになってしまいました。作業のペースも落ち『疲れたあ～、給食、食べたいなあ～』と思いながら、だんだんダラダラとしていました。



その時です。地域の方がお一人、私の側に来てくださり、「お疲れ様です。歩道を気持ちよく歩くことができます。ありがとうございます。」と声をかけてくださったのです。地域の方にとって、やはりこの歩道は心地よいものではなかったのだと思うと同時に、この言葉に俄然元気をもらいました。『給食を食べたい』顔など微塵も見せず、「いえいえ」と言いながら作業が楽しいふりをして再開したのです。こう言われたのでは、作業を止めるわけにはいきません。さらに1時間、自分は元気だと思い込みながら、二袋目のゴミ袋をいっぱいにしていきました。しかし、2時間以上の作業はさすがにしんどい。またもや、作業のペースが遅くなってきました……。

さらにその時です。今度は、校務員の黒木先生が、別の作業があるにも関わらず、歩道を掃く作業と一緒に始めてくれたのです。黒木先生は、先ほどから、私の様子を時折、気にかけて見ながら、今が手助けのタイミングかな?と思ったのでしょうか。素早いスピードで歩道を綺麗にしはじめってくれました。私は黒木先生にお礼を言いつつ、お腹の虫に促されるまま、給食にありつくことにしました。そして、黒木先生が最後まで作業をし、綺麗にしてくれたのです。ありがとうございました!

さて、このことを振り返ってみると、子ども達の勉強や活動をどんなタイミングで褒めるか、どのタイミングで支援するかが少し分かったような気がします。私の作業の途中で地域の方が声をかけてくださったときのように、何かしらある程度の頑張りがみられた時の言葉かけは心に浸みます。そして、やる気をみなぎらせてくれるのです。あまり頑張ってもいけないことを褒められてもピンと来ないでしょう。褒めることの効果の良し悪しは、そのタイミングにあるようです。

さらに、頑張っているが限界が近づいてきたときに、校務員の黒木先生が差し伸べてくださった支援は本当にありがたいものでした。子ども達の勉強や作業でも、まずは自分でさせてみて、行き詰ったときに差し伸べる支援は、子ども達にとってとても有難いものとなることでしょう。

このような“言葉かけ”や“支援”はそれを施すタイミングがとても重要だと感じました。そのタイミングが分かるためには、子ども様をよく見ておくこと、そして、ここそのタイミングで施すことが重要なのだと思います。子どもたちを指導する私たち教員も、ご家庭で子どもたちを温かく見守る保護者の皆様も、子ども達の頑張り様子を気にかけて、さりげなく見ながらタイミングよく“言葉かけ”や“支援”をしていくことができればいいなあ、思いました。